

2002年7月入職

しらかわ ゆか
白川 結香



後続くエキスパートナースのお手本になりたい

エキスパートCEの活躍に刺激を受けていた

地元の福岡で看護師の資格を取り、横浜に出て善仁会に就職しました。途中退職していた期間を除いて、キャリアは約10年になりました。思いやりエキスパートナースの試験を受けるにあたって、善仁会グループではすでにエキスパートCE（臨床工学技士）という制度が立ち上がっていますが、同じ透析室にその資格を持った方が2名おり、その活躍ぶりを私も目の当たりにしてきました。

お手本になるところがたくさんあり、とても刺激を受けていました。思いやり研修を受けることになって、朝の挨拶の時でも思いやりという言葉が頭に浮かび、患者さまとつい馴れ馴れしい言葉遣いをする自分にハッとして、気を引き締めるようになりました。「エキスパートナースの役割」という定義にプレッシャーを感じましたが、再就職してから知識と技術の向上にばかり気を取られて患者さまに心のご満足をいただけるような行動が足りなかった自分を客観視でき、出直せる良い機会になったと思います。最終面接で、「第1期生なので、後の人が続いてこられるようにお手本になって頑張ります」と申し上げたことを覚えています。

「私でも合格したのだから」

透析は穿刺などの手技の他に、機械操作など看護師にとっては色々難しいことが多く、手際よくやらないと患者さんからクレームをいただいてしまいます。特に慣れない新人がミスやトラブルを起こした時は、自分が出て行って調整を図らなければなりません。患者さまとスタッフの両方から信頼されるように、しっかりと思いやりを持ってやっていきたいと思います。エキスパートナースを目指す後輩には、「大丈夫よ、私でも合格したのだから」と声をかけるつもりです。



思いやりを常に心がけ行動し
患者さまからも スタッフからも
信頼される看護師でありたい
白川 結香